

大田市立病院改革プランの点検・評価報告書
(平成25年度 実施状況)

平成26年12月

大田市立病院改革プラン評価委員会

目 次

1	はじめに	- 1
2	大田市立病院改革プラン取組状況	- 2
3	収支計画と決算の状況	- 6
4	大田市立病院改革プラン 評価・改善事項	- 7
5	大田市立病院改革プラン評価委員会委員名簿	- 9

1 はじめに

「大田市立病院改革プラン」は、平成19年12月に総務省から、公立病院が自ら果たすべき役割を明確にした上で改革を進めるための指針として公立病院改革ガイドラインが示されたため、改革プラン策定委員会により、平成21年3月に策定されている。

この改革プランの対象期間は、平成21年度から平成25年度の5年間であり、毎年、点検・評価・公表を行うこととなっている。

今回、大田市立病院改革プラン評価委員会を設置し、改革プランの実施状況について点検・評価を行った。

大田市立病院から示された経営効率化計画（7項目）及び再編・ネットワーク化の8項目について、次の区分により項目別評価を行った。

区分	評価の内容
A	目標が達成されている
B	取組みはしているが、現状未達成である
C	目標が未達成である

1 大田市立病院改革プラン 取組状況

実行プラン		指標 (平成25年度)	平成25年度 取組み状況
1) 収入増 加・確 保対策	1 5F病棟の再開	平成22年度 再開	○看護師確保対策の実施 看護師の新規採用機会拡大(採用試験3回実施) 看護師就職キャンペーン合同セミナー参加(山陰中央新報社主催、H25.5.5) 看護師養成学校訪問(岡山・広島、H25.6.26~27) 看護学生アルバイト実施(H25.8.1~31、11名参加) 看護職就職ガイダンス実施(大田市立病院主催、H25.8.17、9名参加) 進路ガイダンス参加(仁摩高校:H25.6.22、H26.3.10 大田高校:H25.8.1、H25.8.7、H25.10.16) 新聞広告掲載 ○看護職員修学資金貸与者採用(3名)
	2 回復期リハビリテーション病棟の設置	平成23年度 実施	○平成27年度の回復期リハビリテーション病棟設置に向けて、院内ワーキンググループを立ち上げ、具体的内容について検討を行った。(26年4月よりシミュレーションを開始した)
	3 亜急性期病床の設置	検討	○検討済み(1床当たりの面積要件を満たすことができないため、困難と判断した)。
	4 外来化学療法法の拡充	拡充	○レジメン(化学療法施行計画書)件数について25年度に新規で22件作成し、73件となった。(内科:12件、外科56件、その他5件)
	5 専門外来の設置	継続実施	○緩和ケア外来を4月より開始。13件 ○呼吸器内科:1,111件 ○総合診療科:619件
	6 クリティカルパスの適用数増加	90種類	○治療の計画書となる院内クリティカルパスの実績作成数は102種類となっている。
	7 人間ドック・健康診断等の再開・拡充	400件	○人間ドックを毎週火曜日定員5人で実施。 実施件数:114件 ○検診検査実施件数:68件
	8 緩和ケア医療の充実	15名	○がん相談:106件、 ○他病院・診療所からの緩和ケア目的入院受け入れ:27件 ○緩和ケアネットワークおおだの活動を通じて、研修や啓発活動を行い、大田市内の関係者との交流をふかめ、連携強化に努めている。
	9 病院機能評価の更新	更新(Ver.)	○平成21年度認定済。 ○平成26年度の認定更新は見送ることとした。
	10 亜急性期入院医療管理料の取得	検討	○検討済み(1床当たりの面積要件を満たすことができないため、困難と判断した)。
	11 回復期リハビリテーション病棟入院料の取得	平成23年度 取得	○平成27年度の回復期リハビリテーション病棟設置に向けて、院内ワーキンググループを立ち上げ、具体的内容について検討を行った。(26年4月よりシミュレーションを開始した)
	12 未収金の縮減	実施	○顧問弁護士に相談し、納付勧奨文書を送付し督促を強化した。 40名 3,589,685円 26年3月末までの完納額 10名 93,957円収納。 分納中 6名(1,621,053円) ○債権管理システム構築に向け継続検討 ○囑託職員を1名配置し、訪問督促に積極的に取り組んでいる。
	13 栄養管理指導の算定件数増加	1,000件/年	○食事箋を確認し治療食の場合、指導依頼を出すよう管理栄養士が主治医に個別にお願いしている。 ○算定件数:2,303件
	14 薬剤管理指導の算定件数増加	500件/年	○算定件数4,454件

実行プラン		指標 (平成25年度)	平成25年度 取組み状況
1) 収入増 加・確 保対策	15 CT検査件数の増加	10,900件/年	○25年度実施件数:6,867件(うち他院からの依頼件数760件)
	16 MRI検査件数の増加	3,640件/年	○25年度実施件数:2,890件(うち他院からの依頼件数851件)
	17 遠隔画像診断実施	医療機関数 2施設	○25年度実施件数は、1,478件で地域医療支援の一旦を担っている。
	18 ホームページの充実	充実	○平成25年4月1日、ホームページを全面リニューアルし、随時情報の更新に努めた。
	19 広報誌(大田市立病院だより)の発行	発行 (4号/年)	○広報委員会を8月に設置し、平成26年1月に創刊号を発行。(銀の風)
	20 院内広報誌の充実	充実	○各チーム会が定期的に活動状況をニュースにまとめ報告。 ○新病院建設だよりを発行。(4回)
	26 職員接遇研修実施	実施 (2回/年)	○未実施。今後、患者クオリティ向上委員会を設置し、実施方法等の検討を行う。
27 患者満足度アンケート調査の実施	実施	○未実施。今後、患者クオリティ向上委員会を設置し、実施方法等の検討を行う。	
2) 経費削 減・抑 制対策	28 待遇改善	実施	○不妊治療休暇制度の創設。(最長6か月:無給)
	29 時間外勤務の要因分析と改善	分析、実施	○衛生委員会において健康管理の面から時間外勤務の分析を実施。 ○ワークライフバランスに向けて看護師の業務量調査を行い、業務内容の見直しを図った。
	30 委託費の適正化→業務の見直し及び委託の適正化	実施	○4年に1回、給食、医事、検査の各委託業務について総合評価を行い業者選定を行っている。 ○SPD業務の見直しを行い委託料の縮減を図った。
	31 価格交渉、品目数の削減、在庫管理の適正化	検討、実施	○診療材料の品目数の削減については、更に削減してもらうよう物品管理委員会等において協力依頼をした。 薬、試薬、診療材料については、入札時に各業者と交渉を実施した。
	32 節水・節電の実施	実施	○水道使用量 H24年度(37,678m ³)→H25年度(37,124m ³) 554m ³ 減 ○電力使用量 H24年度(2,769,624kwh)→H25年度(2,871,240kwh) 115,632kwh増 (冷暖房時間の増加などが要因) ○月1回使用水量をチェックし、漏水の有無を確認。 ○電力監視装置により、使用電力量のチェック。
33 常勤医師の確保	確保数2人	○大田総合医育成センターに外科系准教授が1名着任(H25.8) ○鳥根県あかひげバンクを通じ内科医1名、外科医1名が着任(H26.4) ○大田市出身の医師1名がUターンし内科医として着任(H26.4) ○鳥根大学医学部へ派遣要請。皮膚科派遣医1名着任(H26.4) ○ホームページ、インターネットサイトを利用した医師募集 ○市人会(東京、近畿、広島)への情報提供 ○全国学会にて後期研修医募集活動を実施(H25.5.18、仙台)	
34 鳥根大学における地域枠医学生の確保	確保数2人	○地域枠推薦入試のための医療機関実習を受け入れ(H25.7.24~8.9) ○大田高校進路講演会にて地域枠推薦入試について説明(H25.10.16) ○鳥根大学在学中の地域枠学生との交流会参加(大田市主催、H25.7.1)	

実行プラン		指標 (平成25年度)	平成25年度 取組み状況
3) 人材の 確保・ 育成	35 女性医師の雇用促進	実施	○院内保育所活用(女性医師1名利用)
	36 院内保育所の充実	24時間 保育の増	○利用者の定着 基本保育利用者:1月当たり29名 夜間保育利用者:1月当たり3名
	37 育児短時間勤務制度の実施	実施	○制度の実施により2人が利用。
	38 修学資金貸与制度の利用促進	15名	○ホームページ、広報、ぎんざんテレビ等による周知 ○大田高校進路講演会にて修学資金制度について説明(H25.10.16) ○貸与継続(H25年度貸付15件、内新規6件)
	39 近隣の看護師養成施設との連携強化	実施	○石見高等看護学院地域枠推薦学生の近況報告会(大田市主催、H25.8.20、3名参加) ○石見高等看護学院学生の病院見学訪問受け入れ(H25.8.23、5名参加)
	40 研修・見学プログラムの実施	実施	○下記のとおり研修等の受け入れを行った ・島根大学医学部初期臨床研修(H25.8～H26.3月、5名) ・島根大学医学部地域医療実習(H25.4～10月、36名) ・遼摩高校インターンシップ(H25.10.9～10.11、4名参加) ・中学生地域医療現場体験セミナー(H25.8.7、4名参加) ・大田市中学校職場体験(H25.8.21～9.27、4名参加) ・江東中学校職場体験(H25.10.9～10、1名参加) ・高校生一日助産師体験(H25.6.28、1名参加) ・高校生一日看護師体験(H25.8.2、19名参加) ・ふるさと教育推進事業(H25.5.31・6.12・11.20、小学生31名参加)
	41 指導医師の育成強化	実施	○総合診療医出張指導実施(4回) ○外部機関での研修・講習受講
	42 医療に関するシンポジウム等の実施	実施	○周辺病院や医師会の医療スタッフを対象に総合医出張指導会の開催。(年4回)
4) 民間経 営手法 の導入	43 病院経営に関する研修	参加、実施	○経営健全化検討委員会で検討されたテーマについて先進地視察や院内研修会を開催。 ○全国自治体病院協議会島根県支部事務部門情報交換会に出席し、他病院の取り組み状況等情報交換を実施。 ○DPCに関するデータ提出についての説明会への出席(H25.5)
	44 経営効率化計画の実行・評価	評価委員会による評価見直し	○改革プラン評価委員会を開催した(H25.11.26) ○経営健全化検討委員会を31回開催(回復期リハビリテーションワーキングを含む)し、経営改善に向けて検討協議を行った。 ○統計分析について、診療報酬請求データを活用した経営分析の報告を毎月開催している。今後、報告データの種類を増やすとともに経営への活用を行っていく。 ○患者動向(患者数、平均在院日数等)を日々更新し、電子カルテ上に掲載し、周知を行っている。また、診療会議(月に1回開催)にて患者数、収益動向、査定状況などを報告し、改善に向けて検討を行っている。
	45 診療科別原価計算の導入	検討・実施	○他院の状況等を調査し、実施方法について検討中。
	46 電子カルテを活用した経営分析	実施	○統計分析について、診療報酬請求データを活用した経営分析の報告を毎月開催している。今後、報告データの種類を増やすと共に経営への活用をおこなっていく。 ○分析データを毎月診療会議で報告している。 ○経営健全化検討委員会を31回開催(回復期リハビリテーションワーキングを含む)し、経営改善に向けて検討協議を行った。

実行プラン		指標 (平成25年度)	平成25年度 取組み状況
5) 経営形 態の見 直し	47	レセプト請求精度の向上 査定率 0.18%	○院内での点検・精査の強化についての継続実施。 ○25年度査定率0.56% ○査定状況を医師、担当部署に周知し情報提供を実施している。 ○会議において査定分析状況を周知し、査定防止に取り組んでいる。
	48	地方公営企業法全部適用の導入 導入	○地方公営企業法全部適用への移行に向け準備を行った。(平成26年4月に移行)
6) その他	49	救急医療体制の維持 維持	○大田救急業務連絡協議会を開催し、研修や症例検討会を実施。 ○休日診療の当番医制度の継続 ○ドクターヘリの活用(29件)
	50	災害拠点病院としての機能維持 維持	○DMAT(5名)を設置し、DMAT隊員養成研修に参加。 ○EMISでの訓練参加。 ※DMAT:災害派遣医療チーム EMIS:広域災害救急医療情報システム
	51	介護予防通所リハビリテーションの提供 40件/月	○通所リハビリテーションの実績32.0件/月 ○予防通所リハビリテーションの実績10.5件/月
	52	介護予防訪問リハビリテーションの提供 160件/月	○訪問リハビリテーションの実績118.3件/月 ○予防訪問リハビリテーションの実績14.3件/月
	53	地域連携担当部署の設置 検討	○地域医療連携室での相談実績(25年度:1,069件) ○ボランティア団体「カーネーション」による活動(受付補助、院内の案内、車椅子の手伝い)。 毎週月曜日と金曜日に2名ずつ活動 26年3月末現在 ボランティア登録者数29名
	54	医師会等との連携強化 実施	○医師会役員会への参加 ○かかりつけ医との一層の強化を図るため、訪問看護ステーションを拡充し、引き続き在宅療養の支援に努めた。 ○紹介率64.5%、逆紹介率46.8%
	55	地域連携クリティカルパスの導入 導入	○がん連携指導料の施設基準を取得し、島根大学病院及び県立中央病院との間で連携パスに基づく治療を実施している。 ○25年度対象者数:胃がんパス2名、乳がんパス7名
	56	病診連携登録医との勉強会の促進 実施	○大田市立病院医局セミナーを2回開催した。 ○県央保健所主催による医療連携ITシステムに関する圏域勉強会に近隣の開業医と共に参加した。(H26.2)
	57	健康講座・予防教室の開催 実施	○「出前講座」を実施し、地域の団体を訪問して健康や医療に関心を持っていただくための講演やリハビリ教室などを行った。 (実績:17件、参加人数:396人) ○看護部による「ふれあい講座」を継続して開催している。 (実施回数:8回、参加人数:77人)
	58	「診療科案内」小冊子の作成 作成	○冊子は未作成であるが、ホームページ内の診療科案内は随時更新。
7)収支 計画	59	糖尿病教室の開催 実施	○教育入院の継続実施(実施人数:11人) ○糖尿病透析予防指導(142件) ○糖尿病教室(奇数月の第4水曜日)実施(参加者:59名)
	60	新病院の整備に向けた検討 検討	○基本設計を行う業者をプロポーザブル方式により決定し、平成24年度に策定した「新大田市立病院建設基本構想」に基づいた基本設計を作成した。
8) 再編・ ネット ワーク	61	収支計画 実施	○収支は赤字となっているが、救急再開、大田総合医療センターの開設、アクションプランの策定・実施など経営健全化に向けた様々な取り組みにより赤字額は3年間で半減した。
	62	再編・ネットワーク化への取り組み 実施	○島根県立中央病院、島根大学附属病院とのがん連携パス実施。 胃癌7件、乳癌7件が継続中。新規なし。 ○島根県連携室看護師会議への出席で情報交換をしている。 ○地域包括ケア会議に参加し、大田地域の課題の抽出や解決を目指して意見交換や提案をしている。 ○島根県医療情報ITシステム(まめネット)を導入し、平成26年3月から運用を開始した。

収支計画と決算の状況

1) 経営指標

区分	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
	決算	計画	決算	計画	決算②	差異(②-①)	計画③	差異(③-②)	決算④	差異(④-③)	計画⑤	差異(⑤-④)	決算⑥	差異(⑥-⑤)
1日平均患者数(入院)	242.0	210.0	226.1	253.9	200.4	△ 25.7	253.9	149.1	△ 104.8	161.6	△ 111.2	288.1	174.5	△ 113.6
1日平均患者数(外来)	592.2	535.1	564.2	582.0	512.9	△ 51.3	582.0	409.3	△ 172.7	408.0	△ 184.0	614.0	391.9	△ 222.1
診療単価(入院)	29,649	30,200	30,521	30,205	29,709	△ 812	30,205	30,811	606	32,022	990	31,342	32,332	990
診療単価(外来)	6,308	6,481	6,493	6,572	6,554	61	6,572	6,957	385	7,320	694	6,816	8,136	1,320
病床利用率(339床)	71.4%	61.9%	66.7%	74.9%	59.1%	△ 7.6%	74.9%	44.0%	△ 30.9%	47.7%	△ 32.8%	85.0%	51.5%	△ 33.5%
職員給与比率	48.8%	54.6%	53.9%	52.4%	60.2%	6.3%	52.4%	70.4%	18.0%	64.2%	15.1%	47.4%	57.4%	10.0%
経常収支比率	93.5%	87.0%	89.4%	93.0%	83.7%	△ 5.7%	93.0%	75.9%	△ 17.1%	96.4%	82.8%	99.5%	86.9%	△ 12.6%
一般会計繰入金比率	6.3%	10.6%	11.9%	11.0%	14.0%	2.1%	11.0%	15.6%	4.6%	16.8%	8.8%	7.6%	16.7%	9.1%

(単位:人、円、%)

2) 収支計画(収益的収支)

区分	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
	決算	計画	決算	計画	決算②	差異(②-①)	計画③	差異(③-②)	決算④	差異(④-③)	計画⑤	差異(⑤-④)	決算⑥	差異(⑥-⑤)
入院収益	2,626	2,314	2,519	2,174	2,174	△ 345	2,799	1,677	△ 1,122	1,894	△ 1,204	3,296	2,059	△ 1,237
外来収益	915	843	887	813	813	△ 74	929	692	△ 237	729	△ 230	1,025	781	△ 244
一般会計負担金	236	362	439	459	459	20	443	408	△ 35	486	135	350	526	176
その他	140	123	103	125	125	22	119	117	△ 2	125	6	120	133	13
計 A	3,917	3,642	3,948	3,571	3,571	△ 377	4,290	2,894	△ 1,396	3,234	△ 1,293	4,791	3,499	△ 1,292
給与費	1,844	1,861	1,992	1,977	1,977	△ 15	2,115	1,836	△ 279	1,859	△ 284	2,194	1,811	△ 383
材料費	828	726	783	678	678	△ 105	892	480	△ 412	538	△ 429	1,028	588	△ 440
経費	916	1,021	1,059	1,028	1,028	△ 31	1,088	996	△ 92	1,027	△ 59	1,072	1,132	60
減価償却費	394	405	426	425	425	△ 1	369	363	△ 6	347	△ 3	358	355	△ 3
その他	209	173	157	157	157	0	147	138	△ 9	134	△ 15	165	141	△ 24
計 B	4,191	4,186	4,417	4,265	4,265	△ 152	4,611	3,813	△ 798	3,905	△ 790	4,817	4,027	△ 790
差異 C (A-B)	△ 274	△ 544	△ 469	△ 694	△ 694	△ 225	△ 321	△ 919	△ 598	△ 671	△ 503	△ 26	△ 528	△ 502

(単位:百万円)

3) 収支計画(資本的収支)

区分	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
	決算	計画	決算	計画	決算②	差異(②-①)	計画③	差異(③-②)	決算④	差異(④-③)	計画⑤	差異(⑤-④)	決算⑥	差異(⑥-⑤)
企業債	282	218	118	95	95	△ 23	175	145	△ 30	143	△ 32	115	147	32
出資金														
一般会計負担金	122	214	234	237	237	3	243	247	4	242	△ 9	182	156	△ 26
その他	26	18	0	13	13	△ 7	418	422	4	391	△ 35	297	322	25
計 A	430	450	352	345	345	△ 7	418	422	4	426	△ 25	15	0	△ 15
建設費	40	34	8	10	10	2	25	0	△ 25	0	△ 25	15	0	△ 15
器械備品整備費	253	195	122	89	89	△ 33	150	175	25	156	6	100	163	63
企業債償還金等	203	386	417	417	417	0	428	428	0	424	△ 18	289	254	△ 35
長期貸付金		2	6	9	9	3	9	16	7	14	5	9	10	1
その他														
計 B	496	617	553	525	525	△ 28	612	619	7	626	△ 31	413	428	15
差異 C (A-B)	△ 66	△ 167	△ 201	△ 180	△ 180	21	△ 194	△ 197	△ 3	△ 204	△ 4	△ 116	△ 106	△ 10

(単位:百万円)

大田市立病院改革プラン 個別評価事項

項目	評価・改善事項	
1) 収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・病床利用率の向上及び病床回転率の向上を図って欲しい。一般病床での利用率は80%の確保が必要。 ・経費削減等を計り収支の抑制のため、民間業者への業務委託等の活用を検討すべきではないか。 ・確保対策については、島根大学医学部が医師を確実に送り出されるまで他大学、医療機関等幅広く営業活動していくべきと考える。 ・新病院での回復期リハビリテーション病棟設置を見据えたシミュレーション開始について評価する。今後、検証状況など示すことも必要である。 ・緩和ケア外来の設置、外来化学療法の実施について評価するがレジメン件数の増加について更なる努力を期待する。 ・地域医療支援、大田圏域の医療の質向上のための遠隔画像診断は引き続き取り組んで欲しい。 ・未収金の縮減について一定の成果が出ており、今後も継続した取り組みが必要である。 ・接遇研修、患者満足度調査は実施に向け検討が必要である。 ・診療収入増加率について、25年度が24年度に比べて微増に留まっている。人間ドック、CT検査数など減少傾向が見られ、何らかの対策を期待する。 ・取り組みの内容について、収入面での効果額の検証が必要である。また、指標の設定についても必要に応じて見直しが必要と考える。 	B
2) 経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・年度数値目標をかかげ抑制に努めるべきと思う。それぞれの経費目標を洗い出し、削減抑制対策を行うべきと思う。 ・医薬品費、材料費など縮減が図られたことは評価するが、医療収入に占める割合が前年より増加しており、更なる一層の削減努力が必要。光熱水費の削減についてももう少し必要と考える。 ・時間外勤務の分析と業務内容の見直しが実施されているが、具体的な行動と成果が表れていないと考える。 ・同規模病院の情報など収集し、現状の取り組みを検証することが必要であると考え。 ・取り組み状況については評価するが、各経費の具体的な改善値が見えるようにして欲しい。引き続き職員全体が経営改革意識を持って業務にあたって欲しい。 	B
3) 人材の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤医師の増員がなされ努力はされているが、人材の確保育成についての計画及び内容の拡充を図って欲しい。 ・既存での確保ルートに固執せず、幅広いルートでの人材確保の検討が必要と考える。また、単なる募集ではなくイメージ作戦の展開も検討してはどうか。 ・取り組みとしては良い方向だと思ふ。人材確保が出来ると信じ、研修、見学プログラムは継続して欲しい。 ・院内保育所の設置稼働により職場環境の向上が図られた。 ・新病院建設など明るい材料もあり、30名の医師確保に向けて更なる努力を期待する。そのためには、働きやすい職場環境整備や離職防止の対策が必要である。 	B
4) 民間経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・病院経営について医療現場に精通した人材確保も必要と思う。 ・DPCの導入検討がなされているが必要だと考える。 ・レセプト査定率が0.56%と高いため対策が必要である。 ・診療報酬データなど各種データによる経営分析の毎月の報告は重要である。 ・原価計算システム導入については、検討段階から前進が見られない。前向きな取り組みが必要である。 ・経営健全化検討委員会で検討された内容や診療報酬データによる勉強会が経営にどう生かされたか、示して欲しい。 	B
5) 経営形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業法の全部適用について、25年度に検討準備され26年度から移行されたことを評価するとともに今後より企業性が発揮されるよう、期待する。 	A

項目	評価・改善事項	
6)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市立病院のあり方、目指す目標を半期ごとに検証し、一步一步前進していくのが望ましい。 ・医師の勤務実態を広く市民に伝え患者、医師お互い信頼される病院づくりを目指して欲しい。 ・DMATが設置され災害拠点病院として強化されたことを評価する。病院のイメージ向上のためにも外部へのPRも必要だと考える。 ・出前講座、ふれあい講座など地域啓発活動は今後も継続し、情報発信に努めて欲しい。 ・訪問看護も年々充実しており、成果を上げて来ている。 ・ボランティア団体「カーネーション」による院内ボランティアも成果を上げていると評価する。今後も継続するとともにこうした組織団体との連携強化に努められたい。 ・大田市医師会との連携について、意見交換会の開催など更なる連携強化に取り組んで欲しい。 	A
7)収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・前期、後期と収支計画を立て、前期の反省点を見つけ後期に改善等を行う手法を取るべきと思う。 ・収支は回復傾向にあり、減価償却前の収支均衡も見えてきており、評価する。今後も油断することなく経営状況の監視に努められたい。 ・収支は回復傾向だが、好転しているとは言い難い。一部の診療科の努力は認めるが各診療科において現状を理解し、真摯な取り組みが必要と考える。 ・収入及び経費節減に若干の陰りが見える。新病院建設を機に全職員一丸となって経営改革に取り組まれるよう期待する。 	B
8)再編・ネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> ・まめネットの導入がなされたが、今後拡充が図られるよう更なる努力を期待する。 ・がん連携パスの取り組みは評価する。継続の取り組みに努められたい。 ・再編・ネットワークの核となる新病院建設が予定されている。開院までに地域医療連携の更なる推進のためリーダーシップを発揮して欲しい。 	B
9)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・次期改革プランは策定等について院内各部署からの委員の選出や精通した人材の確保などで必要で、今後重要な時期を迎える。主体性、柔軟性を持って取り組んでいただきたい。 ・地域の病院として職員は住民の目線に立ち、コスト意識を持って病院運営にあたってもらいたい。 ・改革は新病院建設により新たな段階に入ったと思う。地方公営企業法全部適用へ移行した事などにより一層企業性が強まることから、全職員の奮闘を期待するとともに事業管理者(院長)－医師－看護師等スタッフが一つの方向に突き進んでいただきたい。 ・職員提案制度の実施など発想の転換など必要ではないかと考える。また、それに対する表彰制度も考えてはどうか。 ・診療統計の作成やデータ分析に力を入れて欲しい。また、統計資料「あゆみ」の発行も継続して取り組んで欲しい。 	

大田市立病院改革プラン評価委員会名簿

(敬称略)

所 属	氏 名	備 考
大田市議会	林 茂 樹	
大田市議会	小 林 太	
大田市医師会	福 田 一 雄	副委員長
島根県県央保健所	長 崎 みゆき	
大田市地域医療支援対策協議会	森 山 護	
大田市社会福祉協議会	岩 谷 博	委員長
有識者	渋 谷 次 夫	
大田市	松 村 浩	